



Title	日本語プログラムの妥当性検証の試み -日本語能力試験Can-do自己評価リストを利用して-
Author(s)	小森,和子, 柳澤,絵美
Citation	明治大学国際日本学研究, 8(1): 93-118
URL	http://hdl.handle.net/10291/20636
Rights	
Issue Date	2015-03-31
Text version	publisher
Type	Departmental Bulletin Paper
DOI	

<https://m-repo.lib.meiji.ac.jp/>

【研究ノート】

日本語プログラムの妥当性検証の試み

—日本語能力試験 Can-do 自己評価リストを利用して—

An attempt of validation studies for Japanese Language Program: A pilot study using JLPT Self-Evaluation List

小 森 和 子

KOMORI, Kazuko

柳 澤 絵 美

YANAGISAWA, Emi

I はじめに

1 国際日本学部の日本語科目

大学のグローバル化は、2008年に「留学生30万人計画」が策定されてから一気に加速し、2010年に13大学が採択された国際化拠点整備事業（いわゆる、G30）や、2014年からはじまったスーパーグローバル大学創成支援（いわゆる、SGU）等、グローバル化を推進する大学に対しては、国からも本格的に助成が行われるようになってきた。本学もG30、SGUのいずれにも採択され、留学生の受け入れを拡大するべく、様々な取り組みを行っている。その一つとして、国際日本学部には英語で学位をとるコース（English Track, 以下、ET）が開設され、そのコースの中に日本語未習者や初級者向けの日本語科目「Introductory Japanese」（以下、入門日本語）、および「初級日本語」が置かれるようになった。ET開設前は、本学は、十分な日本語能力を有し、日本語で学位をとるコース（いわゆる、日本語トラック、以下、JT）の留学生を中心に受け入れていたため、学部生向けの初級レベルの日本語科目を設置する必要がなかったのである。なお、国際日本学部は、2008年の学部開設以来、アカデミック日本語教育の重要性を認識し、JT留学生を対象とした独自の上級レベルの日本語科目（以下、上級日本語）を必修科目として設置している。

入門日本語と初級日本語は、いずれも、総合クラス3コマと技能クラス3コマの計6コマで構成されており、学期終了時の到達目標レベルは、入門日本語が初級前半終了程度で、日本語能力試験（以下、JLPT）のN5合格相当、初級日本語は初級終了程度で、JLPTのN4合格相当としている。実際、学期終了時点で、JLPTの過去の出題問題を利用して、学生の到達度合いを観察しているが、概ね、N5、N4に合格できる程度に達しているという感触を得ている。

このように、国際日本学部に設置されているのは、入門日本語・初級日本語、あるいは、上級日本語であり、中級レベルはない。そのため、中級レベルの日本語の学習を希望する学生は、駿河台キャンパスにある日本語教育センターの授業を履修する必要がある。しかしながら、教育の質の保証や効率性という点から、学部内に中級も設置し、一貫した日本語教育を提供することが課題として認識されていた。また、日本語履修のためだけにキャンパス間を移動することは学生には負担が大きく、学部内に中級レベルの日本語科目が開設されることが、学生から強く要望されていた。こうした状況を踏まえ、国際日本学部では、2016年度から、「中級入門」、「中級」、「中上級」、「上級入門」という4つのレベルの日本語科目を増設することになった。これにより、国際日本学部には入門日本語から上級日本語までの7レベルがそろえることとなる。

2 レベルの連続性の検証の意義

学部内に新たに中級レベルの日本語科目を開設するためには、到達目標の設定、カリキュラムやシラバスの設計、教科書の選定、教授法の決定、プレースメントテストの作成等、様々な点で検討と準備が必要であるが、それらを検討する上で前提となるのが、教育の質の保証という観点からレベルの連続性を検討することであろう。ここで言うレベルの連続性には二つの側面がある。

まず一つは、既存の2レベル（入門日本語、初級日本語）に連続し、さらに、必修科目の上級日本語につながるように、この新たな4レベルについて、到達目標をどこに置き、それぞれどのようなカリキュラムを組み立てるべきか、そのためにどのようなプレースメントテストを実施する必要があるのか、という学部内の7レベルの連続性に関わる点である。

もう一つの連続性は、受講生の日本語学習の連続性である。国際日本学部に属する留学生は、正規留学生だけでなく、交換留学生もいる。交換留学生は、本国の派遣元大学において、既に日本語学習を開始している者が大半である。そのため、来日前の派遣元大学での日本語学習と来日後の国際日本学部での日本語学習、さらに、留学を終えて本国に帰った後の派遣元大学での日本語学習の連続性が図られることが望ましい。このことは、交換留学生の帰国後の単位互換を容易にするというメリットがあるが、メリットや意義はそれにとどまらない。

昨今、教育のグローバル化が進み、4年間同じ国の同じ大学で学習や研究を進めるのではなく、世界中を移動して教育を受ける学生が増えてきている。また、語学学習というのは、学生という立場でなくなった後も、一生継続することもあり、大学での学習は生涯学習の一つの通過点に過ぎないとも言える。こうしたなか、国際日本学部が提供する日本語科目は、学生の日本語学習全体の中で、どのように位置付けられ、国際日本学部で提供される日本語科目を受講することによって何ができるようになるのか、国際日本学部での留学が終わった後、次にどのような日本語学習をするべきなのか等を、受講生に説明できるようにしておくべきであると考えられる。教育のグローバル化、特に、世界中で学ばれている日本語の教育をグローバル化するには、こうした能力段階、発達段階に応じた教育の連続性の保証と、そのことについての説明責任が伴わなければならない。それがなければ、「グローバル」な日本語教育を提供しているとは言えない。

村上(2008:49)が指摘するように、「日本語教育関係者だけに通用するレベル名に対して、外部から発せられる『そのレベルは、どのくらいのことができることを意味するのか』という問いに、日本語教育に携わる者は真摯に答えていかなければならない」。すなわち、“今ここ”で提供されている教育プログラムが、“世界共通の指標の中の何”に相当するのか、ローカルな状況をグローバルな枠組みに照らしあわせて、説明できなければならないということである。こうした事情を踏まえ、東京学芸大学や名古屋大学などでは、すでに先駆的な取り組みが行われている(東京学芸大学の取り組みについては、島田・谷部・斎藤(2006)や島田(2010)に、名古屋大学の取り組みについては、村上(2008)を参照されたい)。

3 本研究の位置づけ

この二つの連続性の重要性を認識しつつ、筆者は、新たな4レベル開設に先立って、既存の入門日本語と初級日本語の2クラスについて、確認しておくべき点があると考えた。具体的には、(1)プレースメントテストの段階で、前のレベルのコース終了者が当該レベルに配置(以下、能力相当の学生のクラス配置のことを、プレイスと呼ぶこととする)されていると言えるか否か(ただし、入門日本語は未修者を対象としているため、この点が問題になるのは、初級日本語にプレイスされる学生が入門日本語終了程度であるか否か)、および(2)学期終了時には、入門日本語はN5合格相当、初級日本語はN4合格相当に達していると言えるか否か、について確認しておく必要がある。言い換えれば、(1)はプレイスの妥当性の検証であり、(2)はコースの目標の妥当性の検証ということになる。

ただし、これまで、この2点についてまったく検証していなかったわけではない。(1)については、プレースメントテストの作成、実施、分析、改良という手順を踏んでいる。プレースメントテストは、入門日本語と初級日本語の主要教材から、全ての文型(活用、表現文型等)を拾い出し、それらを用いてテスト問題項目を独自に作成し、実施している。このようなプレースメントテストを使うことによって、コースでカバーされる文型のうち、どの文型までが確実に習得されているかを見極めながら、これまでプレイスを行ってきた。しかしながら、こうしたプレースメントテストは、プレイスのための内部資料であり、受講生にわかりやすくプレイスの意味付けを示すためには、標準化され、世界的に普及している指標との対応付けが必要である。「国際日本学部のプレースメントテストで○点であったから、初級日本語に配置される」という説明では説得力がない。また、(2)についての検証は、これまで、学期末にJLPTの過去の出題問題を受講生にやってもらい、どの程度正答できているかを見ながら、JLPTに合格するレベルに達しているか否かを観察している。しかし、実際のJLPTは尺度得点で受験者の能力を判定しているが、教室で行えるのは正答数得点でのおおよその見極めであって、実際の能力値を推定することは不可能である。

上記の(1)や(2)を検証する最も客観的で確実な方法の一つは、プレイス時点とコース終了時点のそれぞれで、受講者にJLPTを受験してもらうことである。しかし、JLPTの受験には費用が

かかることや受験の時期が本学の学年暦とは一致しないこと等から、JLPTの受験を制度化することは難しい。また、効率性の観点からも、できるだけ簡便な方法でN5合格相当、N4合格相当であるか否かが見極められることが望ましい。

そこで、入門日本語と初級日本語のそれぞれの受講者に、学期が開始した時と学期が終了した時に、日本語能力試験 Can-do 自己評価リスト（以下、JLPT-CDs。次章で詳述）で自己判定をしてもらい、それぞれの受講者がJLPTの合格者の自己評価と近似しているか否かを確認することとした。それによって、(1)入門日本語と初級日本語にプレイスされた学生が妥当なレベルにプレイスされているか否か、(2)入門日本語と初級日本語の受講者が学期終了時点で、それぞれN5合格相当、N4合格相当に達しているか否かを、検討することとした。なお、本研究において、JLPT-CDsを参照するのは、JLPT-CDsがJLPTの外在基準として検証されたもので、JLPTと対応付けられており、客観的な指標として参照するに足る信頼性の高い指標であるということ、JLPT-CDsは複数の言語に翻訳されており、調査に利用しやすいということ、JLPT-CDsは筆者らのような研究者、教育者のみならず、学習者にも参照しやすく、かつ、理解しやすい指標であるということ等による。

なお、この調査は、今回一度限りで終わるものではなく、中級レベルの日本語科目を開設した後には、全7レベルについて同様の調査を複数回、行っていく予定である。全レベルについて調査を行うことにより、国際日本学部の日本語科目の開始当初のプレイスレベルと、終了時の日本語到達レベルを確認することが可能になり、最終的には、前述の2つの連続性について、総合的かつ包括的に実証することができるであろう。本稿は、今後の調査を視野に入れたパイロット調査の結果について、その概要を報告するものである。

II JLPT-CDs について

1 概要

JLPT-CDsは、JLPTの各レベルにおいて、「『このレベルの合格者は日本語を使ってどんなことができそうか』というイメージを作るための試験結果の解釈の参考情報」（国際交流基金・日本国際教育支援協会、2012:1）として提供されている Can-do statements の一種である。Can-do statements というのは、「外国語の学習者や外国語試験の受験者がその言語を実際に使用する言語行動場面で、具体的にどんなことができるかを記述した、能力記述文の集合のこと」（野口・大隅、2012:357）である。例えば、「辞書を見なくても、新聞を読んで内容が理解できる」、「ゆっくり話してもらえば、母語話者同士の会話が理解できる」のようなものである。Can-do statements（以下、能力記述文）は、学習者が自己評価することで、自分の言語能力をどう捉えているかを明らかにすることができるため、言語学習を診断的に評価する一助にもなる。

2 JLPT-CDs 開発のための調査

本節では、JLPT-CDs の概要について簡潔に示す。なお、JLPT-CDs の開発全般については、国際交流基金・日本国際教育支援協会(2011)、および国際交流基金・日本国際教育支援協会(2012)に詳しいので、そちらを参照されたい。

JLPT-CDs の作成やその検証のための調査等は、JLPT の改定の際に行われており、2010年と2011年には大規模な調査が行われた。ただし、それ以前に、(旧)JLPT の時代から、テストの妥当性検証の一環として、基礎的な研究(例えば、三枝, 2004; 島田・三枝・野口, 2006; 野口・熊谷・脇田・和田, 2007 など)が行われており、その研究成果が踏まえられている。

2010年と2011年の調査では、N1からN3までの上位レベル用の能力記述文(A版)と、N3からN5までの下位レベル用の能力記述文(B版)の2版が用意された。N3は、上位レベルと下位レベルをつなぐ新規レベルであるため、両方の版に含まれている。能力記述文は、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4技能から成っており、A版用には4技能が各20項目、B版用には4技能が各17項目あった。調査用紙はマークシート方式で、各能力記述文に対して、4段階(「できる」、「難しいがなんとかできる」、「あまりできない」、「できない」)で自己評価するようになっている。

調査対象者は、2010年と2011年にJLPTを受験した者の中から選ばれた、約6万5千人である。なお、2010年と2011年のJLPTの総受験者数は約120万人であった。調査地は、日本、韓国、中国、ベトナム、マレーシア、インド、オーストラリア、アメリカ、カナダであった。ただし、調査対象者全員の評定が分析の対象となつたのではなく、JLPTの各レベルの合格者のうち、合格者全体の下位3分の1の者のデータのみが用いられた。このようにデータの範囲を限定したのは、「合格ライン付近の合格者が『できる』と考える項目であれば、そのレベルの合格者の多くが『できる』と考えると予想できる」ためだとされている(国際交流基金・日本国際教育支援協会, 2012:3)。

調査対象者が自己評価した4段階の評定は、A版とB版を統合し、項目応答理論を用いて解析されている。解析の結果、能力記述文の中にはJLPTのレベル差を適切に表示しない識別力の低い項目等もあったため、最終的には4技能のそれぞれについて20項目、合計80項目に絞られ、難易度が決定された。なお、2011年の中間報告では、自己評価の4段階評定が、「できる」は4、「難しいがなんとかできる」は3、「あまりできない」は2、「できない」は1で得点化され、その平均値が公開されているが、2012年の最終報告では平均値などの数値は公開されていない。

3 公開されている JLPT-CDs

最終報告や現在公開されているJLPT-CDsでは、利用者が参照しやすいように、能力記述文は難易度順に並べられ、JLPTの各レベルに合格する者のうち上位何パーセントぐらいの人が当該能力を持っていると認識しているか(以降、本稿では、便宜的にこのパーセントのことを「能

力度確率」と呼ぶこととする)を、色分けして表示した図が公開されている (<http://www.jlpt.jp/about/candolist.html> を参照されたい)。具体的には、75%以上が「できる」と答えている項目は最も濃い緑色、50~75%が「できる」と答えている項目は緑色、25~50%が「できる」と答えている項目は薄い緑色、25%未満が「できる」と答えている項目は白色で示されている。

例えば、「聞く」技能で「簡単な指示を聞いて、何をすべきか理解できる」という記述文では、N5とN4では薄い緑色(25~50%)、N3とN2では緑色(50~75%)、N1では濃い緑色(75%以上)で示されている。また、「読む」技能で「短い物語を読んで、だいたいのストーリーが理解できる」では、N5とN4は白色(25%未満)、N3では薄い緑色(25~50%)、N2では緑色(50~75%)、N1では濃い緑色(75%以上)となっている。なお、前述したように、中間報告では平均値が報告されているが、上に挙げた「聞く」技能の「簡単な指示を聞いて、何をすべきか理解できる」という能力記述文の場合、N5の平均値は3.24、N4の平均値は3.40と報告されている。同様に、「読む」技能の「短い物語を読んで、だいたいのストーリーが理解できる」は、N3が3.13、N2が3.39、N1が3.73と報告されている。

4 本研究で利用する JLPT-CDs

本研究では、現在 HP で「日本語能力試験 Can-do 自己評価リスト」として公開されている能力記述文を用いる。ただし、現在公開されているリストには、前述したように、中間報告時に公開されていた平均値は示されていない。しかし、能力度確率、すなわち、合格者の何パーセントができると認識しているかの数値が公開されているので、それらを参照しながら、本研究では分析を進めることとする。また、本研究では入門日本語と初級日本語を受講する学生が ET 留学生であることから、JLPT-CDs 中の英語版を使用することとする。ただし、N3 以上の能力記述文は難易度が高すぎるので、N5 と N4 で能力度確率が 25% 以上の能力記述文のみとする。

III 調査の概要

1 調査対象者

調査対象者は、2015 年度春学期に国際日本学部の日本語科目の入門日本語と初級日本語にブレイスされた学生である。ブレイスメントテストの結果、入門日本語は7名、初級日本語は9名が配置されたが、総合クラスと技能クラスの全6コマをすべて受講し、かつ、コースを終了した学生はそれぞれ5名、7名であったため、最終的な調査対象者は計12名となった。

国籍、および身分(正規生か交換生)については、入門日本語の5名は、韓国2名(いずれも正規生)、ウガンダ1名(正規生)、イタリア1名(交換生)、オーストラリア1名(交換生)であり、初級日本語の7名は、韓国1名(正規生)、台湾1名(正規生)、オーストラリア1名(正規生)、アメリカ3名(交換生)、ドイツ1名(交換生)であった。男女比については、入門は女性2名、男性3名、初級は女性5名、男性2名であった。

2 調査の時期



調査は2015年度の春学期の第1週目（以下、プレ）と、学期終了直前の第14週目（以下、ポスト）の2回、それぞれのクラスのコーディネータである筆者が授業時間内に実施した。調査に際しては、受講生に調査の趣旨を説明し、調査協力の同意を得た。

3 調査用紙

本研究で調査に用いるのは、前述したように、JLPT-CDsの英語版のうち、N5とN4で能力度確率が25%以上の能力記述文（英語）のみである。具体的には、「聞く」が7項目、「話す」が10項目、「読む」が8項目、「書く」が9項目、計34項目である（表1）。

回答は、JLPT-CDsの調査と同様に、「Yes」、「Yes, but with difficulty」、「Not very well」、「No」の4段階評定をそのまま用いた。このようにして作成した調査用紙は付録1の通りである。調査用紙は日付を変えた以外は、プレでもポストでも同じものを用いた。

[表1] JLPT-CDs から本調査用に抽出した能力記述文の一覧

易  聞く  難	(1)	I can understand simple self-introductions by teachers and friends in classrooms.
	(2)	I can understand phrases commonly used at stores, post offices, and stations (e.g. "May I help you?", "It's ○○ yen." and "Here you are.", etc).
	(3)	I can understand instructions from my teacher such as meeting times and places.
	(4)	When I am given simple instructions, I can understand what is required of me.
	(5)	I can generally understand conversations on familiar everyday topics (e.g. hobbies, food, weekend plans, etc).
	(6)	I can understand simple walking directions and directions for public transportation.
	(7)	I can understand the general content when I engage in small talk and free conversations with people around me.

易 ↑ 話す ↓ 難	(1)	I can introduce myself and answer simple questions about myself.
	(2)	I can engage in simple communication using phrases commonly used at stores, post offices, and stations (e.g. "How much is it?" "Can I have ○○?" etc.).
	(3)	I can talk about my hobbies and interests.
	(4)	I can describe my room.
	(5)	I can express feelings such as surprise and joy, and the reasons for them.
	(6)	I can ask when is convenient for the other person and decide a day and time to meet.
	(7)	I can join in conversations on familiar everyday topics (e.g. hobbies, weekend plans, etc.).
	(8)	I can tell that I will be late or absent by telephone.
	(9)	I can ask questions about things I want to buy and explain my wishes and conditions.
	(10)	If I prepare in advance, I can make a short speech in formal situations such as my own farewell party.

易 ↑ 読む ↓ 難	(1)	I can understand my appointment day and time from appointment reservation charts at my school, etc.
	(2)	I can understand simple instructions with pictures (e.g. how to put out trash, how to prepare meals).
	(3)	I can understand simple memos.
	(4)	I can read and understand New Year's and birthday cards.
	(5)	I can read train schedules and guide signs at stations in order to determine what time to board my train.
	(6)	I can understand the sale dates and prices listed in newspaper advertisements and fliers.
	(7)	I can get necessary information (e.g. lecture or meeting schedules, etc.) from notice boards at school or work.
	(8)	I can understand post cards and e-mails from my acquaintances and friends.

易 ↑ 書く ↓ 難	(1)	I can write my name, country, etc. in forms.
	(2)	I can write a simple self-introduction.
	(3)	I can write short sentences for birthday and thank-you cards.
	(4)	I can write my schedule in short words on schedule boards or calendars.
	(5)	I can briefly write about familiar topics such as my family and town.
	(6)	I can write simple memos to my friends and colleagues.
	(7)	I can write short entries in a diary.
	(8)	I can briefly write about my future plans and wishes (e.g. summer vacation travel, work I want to do).
	(9)	I can describe my day-to-day life in writing.

IV 結果と考察

1 分析方法

分析対象のデータは、プレ（学期開始時点）と、ポスト（学期終了時点）の両方の調査に参加した調査対象者（12名）のデータである。分析に当たっては、回答の4段階評定を間隔尺度とみなし、「Yes」を4、「Yes, but with difficulty」を3、「Not very well」を2、「No」を1と数値化して行った。

分析の観点は、前述した本研究の二つの目的に基づく。一つ目の目的は、プレイスの妥当性、すなわち、初級日本語の場合には入門日本語を終了したレベルの学生が初級日本語にプレイスされているか否かを検証することである。これを検証するために、入門日本語のポストと、初級日本語のプレにおいて、評定に差がないか否かを検定する。二つ目の目的は、コースの目標の妥当性、すなわち、学期終了時点で、入門日本語がN5合格相当、初級日本語がN4合格相当であると言えるか否かを検証することである。これを検証するために、入門日本語と初級日本語のそれぞれのポストの値とJLPT-CDsの能力度確率と照合し、それぞれがN5相当、N4相当と言えるか否かを考察する。

2 分析結果

(1) 記述統計

まず、全体を概観するために、入門日本語と初級日本語の記述統計（各技能別）を示す（表2～表5）。参考情報として、入門日本語と初級日本語のそれぞれについて、プレとポストの評定値の変化を対応のある t 検定で確認した結果も示しておく。なお、表中の「Pre」はプレ、「Post」はポスト、「M」は平均、「SD」は標準偏差をそれぞれ表す。また、能力記述文は、(1)が最も難易度が低く、番号が大きいほど、難易度も高い。

[表2] 入門日本語と初級日本語の記述統計：「聞く」

JLPT CDs 「聞く」	入門日本語					初級日本語				
	Pre		Post		Pre/Post t値	Pre		Post		Pre/Post t値
	M	SD	M	SD		M	SD	M	SD	
(1) I can understand simple self-introductions by teachers and friends in classrooms.	4.000	0.000	4.000	0.000		4.000	0.000	4.000	0.000	
(2) I can understand phrases commonly used at stores, post offices, and stations (e.g. "May I help you?" "It's ○○ yen." and "Here you are.", etc).	3.000	1.225	4.000	0.000	$t(4)=-1.826$	4.000	0.000	3.857	0.378	$t(6)=1.000$
(3) I can understand instructions from my teacher such as meeting times and places.	3.600	0.548	4.000	0.000	$t(4)=-1.633$	4.000	0.000	4.000	0.000	
(4) When I am given simple instructions, I can understand what is required of me.	2.800	1.095	4.000	0.000	$t(4)=-2.449^+$	4.000	0.000	4.000	0.000	
(5) I can generally understand conversations on familiar everyday topics (e.g. hobbies, food, weekend plans, etc).	2.400	1.140	3.800	0.447	$t(4)=-2.746^+$	3.714	0.488	3.857	0.378	$t(6)=-1.000$
(6) I can understand simple walking directions and directions for public transportation.	3.000	1.225	3.400	0.548	$t(4)=-0.677$	3.429	0.535	4.000	0.000	$t(6)=-2.828^*$
(7) I can understand the general content when I engage in small talk and free conversations with people around me.	2.600	1.140	3.000	0.707	$t(4)=-0.784$	3.286	0.488	3.571	0.535	$t(6)=-1.549$

注：* $p<0.05$, + $p<0.10$

[表3] 入門日本語と初級日本語の記述統計：「話す」

JLPT CDs 「話す」	入門日本語					初級日本語				
	Pre		Post		Pre/Post t値	Pre		Post		Pre/Post t値
	M	SD	M	SD		M	SD	M	SD	
(1) I can introduce myself and answer simple questions about myself.	3.800	0.447	4.000	0.000	$t(4)=-1.000$	3.857	0.378	4.000	0.000	$t(6)=-1.000$
(2) I can engage in simple communication using phrases commonly used at stores, post offices, and stations (e.g. "How much is it?" "Can I have ○○?"; etc).	3.000	1.000	4.000	0.000	$t(4)=-2.236^+$	3.857	0.378	4.000	0.000	$t(6)=-1.000$
(3) I can talk about my hobbies and interests.	3.200	0.837	3.800	0.447	$t(4)=-1.500$	3.571	0.787	4.000	0.000	$t(6)=-1.441$
(4) I can describe my room.	1.800	0.447	3.600	0.548	$t(4)=-4.811^{**}$	3.429	0.535	3.714	0.488	$t(6)=-1.549$
(5) I can express feelings such as surprise and joy, and the reasons for them.	2.200	0.447	3.800	0.447	$t(4)=-6.532^{**}$	3.000	0.816	3.571	0.787	$t(6)=-1.922$
(6) I can ask when is convenient for the other person and decide a day and time to meet.	2.000	0.707	3.600	0.548	$t(4)=-4.000^*$	3.429	0.787	4.000	0.000	$t(6)=-1.922$
(7) I can join in conversations on familiar everyday topics (e.g. hobbies, weekend plans, etc).	2.200	0.837	3.800	0.447	$t(4)=-3.138^*$	3.286	0.756	3.714	0.488	$t(6)=-2.121$
(8) I can tell that I will be late or absent by telephone.	1.600	0.548	3.600	0.894	$t(4)=-3.651^*$	2.714	0.488	3.429	0.787	$t(6)=-3.873^{**}$
(9) I can ask questions about things I want to buy and explain my wishes and conditions.	2.000	0.707	3.400	0.894	$t(4)=-5.715^{**}$	3.143	0.378	3.286	0.488	$t(6)=-1.000$
(10) If I prepare in advance, I can make a short speech in formal situations such as my own farewell party.	2.000	1.000	4.000	0.000	$t(4)=-4.472^*$	2.714	1.113	3.571	0.787	$t(6)=-3.286^*$

注：** $p<0.01$, * $p<0.05$, + $p<0.10$

[表 4] 入門日本語と初級日本語の記述統計：「読む」

JLPT CDs 「読む」	入門日本語					初級日本語				
	Pre		Post		Pre/Post t 値	Pre		Post		Pre/Post t 値
	M	SD	M	SD		M	SD	M	SD	
(1) I can understand my appointment day and time from appointment reservation charts at my school, etc.	2.800	0.837	4.000	0.000	$t(4)=-3.204^*$	3.714	0.488	4.000	0.000	$t(6)=-1.549$
(2) I can understand simple instructions with pictures (e.g. how to put out trash, how to prepare meals).	3.200	0.447	3.400	0.894	$t(4)=-0.408$	3.710	0.488	3.710	0.488	
(3) I can understand simple memos.	2.600	1.140	3.600	0.894	$t(4)=-1.195$	3.714	0.756	3.571	0.787	$t(6)=1.000$
(4) I can read and understand New Year's and birthday cards.	2.600	1.140	3.400	0.548	$t(4)=-1.372$	3.286	0.951	3.429	0.787	$t(6)=-1.000$
(5) I can read train schedules and guide signs at stations in order to determine what time to board my train.	3.000	0.707	3.600	0.548	$t(4)=-1.177$	3.857	0.378	4.000	0.000	$t(6)=-1.000$
(6) I can understand the sale dates and prices listed in newspaper advertisements and fliers.	2.000	0.707	3.400	0.894	$t(4)=-2.746^+$	3.286	0.756	3.571	0.787	$t(6)=-1.000$
(7) I can get necessary information (e.g. lecture or meeting schedules, etc.) from notice boards at school or work.	2.400	0.548	3.600	0.894	$t(4)=-3.207^*$	2.857	1.069	3.429	0.787	$t(6)=-1.922$
(8) I can understand post cards and e-mails from my acquaintances and friends.	2.200	0.447	3.000	0.707	$t(4)=-2.138^+$	3.000	0.816	3.143	0.690	$t(6)=-0.548$

注：* $p<0.05$, + $p<0.10$

[表 5] 入門日本語と初級日本語の記述統計：「書く」

JLPT CDs 「書く」	入門日本語					初級日本語				
	Pre		Post		Pre/Post t 値	Pre		Post		Pre/Post t 値
	M	SD	M	SD		M	SD	M	SD	
(1) I can write my name, country, etc. in forms.	3.400	1.342	4.000	0.000	$t(4)=-1.000$	4.000	0.000	4.000	0.000	
(2) I can write a simple self-introduction.	3.400	1.342	4.000	0.000	$t(4)=-1.000$	4.000	0.000	4.000	0.000	
(3) I can write short sentences for birthday and thank-you cards.	2.600	1.140	4.000	0.000	$t(4)=-2.746^+$	3.286	1.254	3.714	0.756	$t(6)=-1.441$
(4) I can write my schedule in short words on schedule boards or calendars.	2.400	1.140	3.800	0.447	$t(4)=-2.746^+$	3.000	1.291	3.714	0.756	$t(6)=-1.987$
(5) I can briefly write about familiar topics such as my family and town.	2.200	1.095	4.000	0.000	$t(4)=-3.674^*$	3.714	0.488	4.000	0.000	$t(6)=-1.549$
(6) I can write simple memos to my friends and colleagues.	1.600	0.548	4.000	0.000	$t(4)=-9.798^{**}$	3.429	0.787	3.857	0.378	$t(6)=-1.441$
(7) I can write short entries in a diary.	2.000	1.000	3.400	0.894	$t(4)=-2.064$	3.143	0.690	3.857	0.378	$t(6)=-2.500^*$
(8) I can briefly write about my future plans and wishes (e.g. summer vacation travel, work I want to do).	1.400	0.548	3.800	0.447	$t(4)=-6.000^{**}$	3.286	0.488	4.000	0.000	$t(6)=-3.873^{**}$
(9) I can describe my day-to-day life in writing.	1.400	0.548	3.600	0.548	$t(4)=-5.880^{**}$	3.429	0.535	3.571	0.535	$t(6)=-0.042$

注：** $p<0.01$, * $p<0.05$, + $p<0.10$

(2) プレイスの妥当性に関する分析結果

プレイスの妥当性の検証では、入門日本語の受講生が学期終了時に到達しているレベルが、初級日本語の学期開始時のレベルと近似しているかどうかを確認するために、入門日本語のポストと初級日本語のプレのそれぞれの評定値に統計的に有意な差がないか否かを、対応のない t 検定によって分析した。

[表6] 入門日本語のポストと初級日本語のプレの比較:「聞く」

JLPT CDs 「聞く」	入門日本語		初級日本語		入門・Post/初級・Pre <i>t</i> 値
	Post		Pre		
	M	SD	M	SD	
(1) I can understand simple self-introductions by teachers and friends in classrooms.	4.000	0.000	4.000	0.000	
(2) I can understand phrases commonly used at stores, post offices, and stations (e.g. "May I help you?" "It's ○○ yen." and "Here you are.", etc.).	4.000	0.000	4.000	0.000	
(3) I can understand instructions from my teacher such as meeting times and places.	4.000	0.000	4.000	0.000	
(4) When I am given simple instructions, I can understand what is required of me.	4.000	0.000	4.000	0.000	
(5) I can generally understand conversations on familiar everyday topics (e.g. hobbies, food, weekend plans, etc.).	3.800	0.447	3.714	0.488	$t(10)=-1.132$
(6) I can understand simple walking directions and directions for public transportation.	3.400	0.548	3.429	0.535	$t(10) = 0.538$
(7) I can understand the general content when I engage in small talk and free conversations with people around me.	3.000	0.707	3.286	0.488	$t(10) = 0.297$

まず、「聞く」においては、表6に示したように、いずれの項目でも、入門日本語のポストと初級日本語のプレの間に有意な差はなかった。よって、「聞く」技能においては、入門日本語を終了した学生の自己評価と初級日本語にプレイスされた学生の自己評価は同等程度であると言える。

このことから、初級日本語にプレイスされた学生は、「聞く」技能の自己評価の点においては、入門日本語のコース終了程度の学生が配置されていると考えられる。

[表7] 入門日本語のポストと初級日本語のプレの比較:「話す」

JLPT CDs 「話す」	入門日本語		初級日本語		入門・Post/初級・Pre <i>t</i> 値
	Post		Pre		
	M	SD	M	SD	
(1) I can introduce myself and answer simple questions about myself.	4.000	0.000	3.857	0.378	$t(10)=-1.512$
(2) I can engage in simple communication using phrases commonly used at stores, post offices, and stations (e.g. "How much is it?" "Can I have ○○?", etc.).	4.000	0.000	3.857	0.378	$t(10)=-1.414$
(3) I can talk about my hobbies and interests.	3.800	0.447	3.571	0.787	$t(10)=-1.000$
(4) I can describe my room.	3.600	0.548	3.429	0.535	$t(10)=-0.785$
(5) I can express feelings such as surprise and joy, and the reasons for them.	3.800	0.447	3.000	0.816	$t(10)=-2.278^{**}$
(6) I can ask when is convenient for the other person and decide a day and time to meet.	3.600	0.548	3.429	0.787	$t(10)=-0.704$
(7) I can join in conversations on familiar everyday topics (e.g. hobbies, weekend plans, etc.).	3.800	0.447	3.286	0.756	$t(10)=-1.704^{+}$
(8) I can tell that I will be late or absent by telephone.	3.600	0.894	2.714	0.488	$t(10)=-1.797^{+}$
(9) I can ask questions about things I want to buy and explain my wishes and conditions.	3.400	0.894	3.143	0.378	$t(10)=-0.923$
(10) If I prepare in advance, I can make a short speech in formal situations such as my own farewell party.	4.000	0.000	2.714	1.113	$t(10)=-4.128^{**}$

注: ** $p<.01$, * $p<.05$, + $p<.10$

次に、「話す」については、表7に示したように、全体的に、入門日本語のポストの評定が高い傾向があるが、統計的にその差が有意だったのは、(5)の「I can express feelings such as surprise and joy, and the reason for them」と、(10)の「If I prepare in advance, I can make a short speech in formal situations such as my own farewell party」の2項目のみであった。た

だし、(5)については、初級日本語のプレも平均が3.00と高く、入門日本語のポストとの差はそれほど大きなものではない。よって、「話す」技能については、おおむね、初級日本語にプレイスされた学生は、自己評価の点において、入門日本語のコース終了程度の習熟度の学生が配置されていると考えられる。

ところで、(10)については、入門日本語では全員が4を付けており、初級日本語との差が大きい。これは、入門日本語が学期中に何度かスピーチの練習をしていること、中間試験と期末試験には事前にスクリプトを作成し、それを暗記して行うスピーチが含まれていることが影響していると考えられる。繰り返し練習したことが自己評価を上げたということであろう。一方、初級日本語の受講生の場合は、本国では口頭表現の練習の機会が少なく、スピーチを定期的に練習する機会があまり多くなかったと推測される。そのため、プレの段階では、自己評価も低めになったのではないかと考える。

【表8】 入門日本語のポストと初級日本語のプレの比較：「読む」

JLPT CDs 「読む」	入門日本語		初級日本語		入門・Post/初級・Pre <i>t</i> 値
	Post		Pre		
	M	SD	M	SD	
(1) I can understand my appointment day and time from appointment reservation charts at my school, etc.	4.000	0.000	3.714	0.488	$t(10)=-2.000^*$
(2) I can understand simple instructions with pictures (e.g. how to put out trash, how to prepare meals).	3.400	0.894	3.710	0.488	$t(10)= 0.095$
(3) I can understand simple memos.	3.600	0.894	3.714	0.756	$t(10)= 0.488$
(4) I can read and understand New Year's and birthday cards.	3.400	0.548	3.286	0.951	$t(10)=-.1122$
(5) I can read train schedules and guide signs at stations in order to determine what time to board my train.	3.600	0.548	3.857	0.378	$t(10)= .598$
(6) I can understand the sale dates and prices listed in newspaper advertisements and fliers.	3.400	0.894	3.286	0.756	$t(10)=-0.365$
(7) I can get necessary information (e.g. lecture or meeting schedules, etc.) from noticeboards at school or work.	3.600	0.894	2.857	1.069	$t(10)=-1.901^*$
(8) I can understand post cards and e-mails from my acquaintances and friends.	3.000	0.707	3.000	0.816	$t(10)=-0.491$

注：* $p<.05$

次に、「読む」に関しても、入門日本語のポストと初級日本語のプレにあまり差がなかった。入門日本語の方が初級日本語より有意に評定が高かったのは、(1)「I can understand my appointment day and time from appointment reservation charts at my school, etc.」と、(7)「I can get necessary information (e.g. lecture or meeting schedules, etc.) from noticeboards at school or work」の2項目のみであった。ただし、(1)は初級日本語のポストも3.714と非常に高い値である。統計的に有意となったのは、入門日本語の全員が4を付けており、SDが0であったことに起因するものと考えられる。よって、(1)については、実質的には差がないと考えてよいであろう。以上のことから、初級日本語にプレイスされた学生は、「読む」技能の自己評価の点において、おおむね、入門日本語のコース終了程度の習熟度の学生が配置されていると考えられる。

なお、(7)については、その差がやや大きい。しかし、これについても、授業での訓練や実生

活での経験が反映していると想像される。入門日本語には日本語がほぼゼロの学生が集まっており、学期開始当初から、日本ででの生活上のサバイバルのために、自分がわかる文字や数字の中から情報を何とか取り、それをつなぎ合わせて自分が取るべき行動を推測するという活動を繰り返し行っている。また、学内の情報や掲示は、英語化やバイリンガル化が進んできたとは言え、日本語によるものの方が圧倒的に多く、日本語で必要な情報を取らざるを得ないことも多い。こうした経験や環境は学習者にとっては負担ではあるものの、こうした環境下で入門日本語の受講生は(7)のような言語行動をすることに慣れてきて、最終的には、自己評価も高くなったのではないだろうか。一方、初級日本語の受講生は、来日前は日本語の授業以外において、日常レベルで日本語を読み、そこから自分に必要な情報を取る必要はほとんどない。こうした物理的な環境や経験の量的、質的な差が、評定の差に表れたのではないかと考える。

〔表9〕 入門日本語のポストと初級日本語のプレの比較：「書く」

JLPT CDs 「書く」	入門日本語		初級日本語		入門・Post/初級・Pre <i>t</i> 値
	Post		Pre		
	M	SD	M	SD	
(1) I can write my name, country, etc. in forms.	4.000	0.000	4.000	0.000	
(2) I can write a simple self-introduction.	4.000	0.000	4.000	0.000	
(3) I can write short sentences for birthday and thank-you cards.	4.000	0.000	3.286	1.254	$t(10)=-1.941^*$
(4) I can write my schedule in short words on schedule boards or calendars.	3.800	0.447	3.000	1.291	$t(10)=-2.083^*$
(5) I can briefly write about familiar topics such as my family and town.	4.000	0.000	3.714	0.488	$t(10)=-2.294^*$
(6) I can write simple memos to my friends and colleagues.	4.000	0.000	3.429	0.787	$t(10)=-2.800^*$
(7) I can write short entries in a diary.	3.400	0.894	3.143	0.690	$t(10)=-1.081$
(8) I can briefly write about my future plans and wishes (e.g. summer vacation travel, work I want to do).	3.800	0.447	3.286	0.488	$t(10)=-2.434^*$
(9) I can describe my day-to-day life in writing.	3.600	0.548	3.429	0.535	$t(10)=-1.450^*$

最後に、「書く」に関しても、表9の通り、全般的に入門日本語の方が評定値が高い傾向が認められる。そのうち、統計的に有意であったのは、(3)「I can write short sentences for birthday and thank-you cards」、(4)「I can write my schedule in short words on schedule boards or calendars」、(5)「I can briefly write about familiar topics such as my family and town」、(6)「I can write simple memos to my friends and colleagues」、(8)「I can briefly write about my future plans and wishes (e.g. summer vacation travel, work I want to do)」の5項目であった。4技能の中では、「書く」が最も統計的に有意な差のある項目が多いが、初級日本語も全ての項目で平均値が3を超えており、全般的に評定が高い。海外の日本語教育においても、文字や文型の習得のために、「書く」活動が比較的多く行われているからであろう。よって、統計的には差が認められる項目もあるが、いずれの評定値も高いことから、「書く」技能の自己評価に関しては、初級日本語にプレイスされた学生は、入門日本語のコース終了程度、あるいは、それに近似した習熟度の学生が配置されていると考えて良いであろう。

以上のように、4技能で、入門日本語のポストと初級日本語のプレを比較した結果、全体的には、入門日本語の方が評定値がやや高め傾向がある。しかし、その背景には、JSL(Japanese

as a second language) か, JFL (Japanese as a foreign language) か, つまり, 教育環境や学習方法の違いが影響していると考えられる。入門日本語の受講生は, 日本に来てから本格的に第二言語として日本語を学び始めた学習者である。すなわち, JSL 環境で学習している。一方, 初級日本語の受講生は, 本国にて, 外国語として, すなわち, JFL 環境で学習を開始し, 各自の学習習慣や方法がある程度定着した段階で, 来日している。こうした, JSL 環境か JFL 環境かの違いは, インプット, 目標言語による言語行動の機会, 学習方法, 教授法, 強化される技能などの違いに関わるものである。こうした環境の違いが学習に対する自信の違いに反映した可能性がある。なお, 特に大きな開きがあったのは, 「話す」の(10)「If I prepare in advance, I can make a short speech in formal situations such as my own farewell party」であったが, 前述のとおり, これは入門日本語の授業内で繰り返し行われた活動であり, また, 成績評価に直結する中間試験や期末試験の課題でもあったことが影響したのではないかと考えられる。それ以外の項目については, 非常に小さな差であり, 入門日本語の終了時点と, 初級日本語の開始時点に大きな開きがあるとまでは言えないであろう。さらに, 今回の調査対象者は12名と数も少なかったため, この差がプレイス上問題となる差であるか否かについては, 引き続き検証した上で, 見極めていく必要があると考える。

(3) コースの目標の妥当性に関する分析結果

コースの目標の妥当性に関する検証では, 学期終了時点で入門日本語が N5 合格相当, 初級日本語が N4 合格相当に達しているか否かを確認する。そのために, 入門日本語と初級日本語のそれぞれにおいて, ポストの値と JLPT-CDs の能力度確率と照合し, それぞれが N5 相当, N4 相当と言えるか, 考察していく。

初めに, 「聞く」に関して, 入門日本語と初級日本語のそれぞれのポストの値と能力度確率を比較する(表10)。なお, 能力度確率は, A は75%以上, B は50%~75%, C は25%~50%, D は25%未満を表す。

[表10] ポストと能力度確率の比較:「聞く」

JLPT CDs「聞く」	入門日本語		JLPT-CDs 能力度確率	初級日本語		JLPT-CDs 能力度確率
	Post			Post		
	M	SD	N5	M	SD	N4
(1) I can understand simple self-introductions by teachers and friends in classrooms.	4.000	0.000	B	4.000	0.000	B
(2) I can understand phrases commonly used at stores, post offices, and stations (e.g. "May I help you?" "It's ○○ yen." and "Here you are.", etc).	4.000	0.000	B	3.857	0.378	B
(3) I can understand instructions from my teacher such as meeting times and places.	4.000	0.000	B	4.000	0.000	B
(4) When I am given simple instructions, I can understand what is required of me.	4.000	0.000	C	4.000	0.000	C
(5) I can generally understand conversations on familiar everyday topics (e.g. hobbies, food, weekend plans, etc).	3.800	0.447	C	3.857	0.378	C
(6) I can understand simple walking directions and directions for public transportation.	3.400	0.548	C	4.000	0.000	C
(7) I can understand the general content when I engage in small talk and free conversations with people around me.	3.000	0.707	D	3.571	0.535	C

まず、入門日本語とN5の能力度確率を比較する。N5の能力度確率は、(1)から(3)までの項目がB(50~75%)であるが、入門日本語のポストにおいては、いずれも全員が4をつけている。また、(7)の能力度確率はD(25%未満)で、入門日本語も平均値が3で、この中で最も低い値である。JLPT-CDsの難易度が高くなるにつれて、能力度確率も下がり、入門日本語の評定値も下がっていることがわかる。確認のために、ポストの評定値と能力度確率(Aは4, Bは3, Cは2, Dは1に変換)の間に相関関係があるかどうか、スピアマンの順位相関で確認したところ、有意であった [$r(7)=.831, p<.05$]。このことから、入門日本語の受講生の自己評定はJLPTのN5合格者の自己評定に近い値であると考えられる。

次に、初級日本語とN4の能力度確率を比較する。N4の能力度確率は、(1)から(3)までがB(50~75%)であり、初級日本語のポストも、概ね全員が4をつけている。(4)から(7)は、N4では、いずれもC(25%~50%)であるが、初級日本語では、(1)から(3)の値とほとんど同じであり、高い評価となっていることがわかる。このうち、全員が4をつけた(4)「When I am given simple instructions, I can understand what is required of me」については、プレの段階でも同じく4が付いており、来日当初から自己評価が高かったことがうかがえるが、学期末にも同じく全員が4を付けたのには、一学期間日本で学んだ経験が関係していると考えられる。初級の授業は、基本的にすべて日本語で行われているため、学習者は日々の授業で日本語による指示や説明を聞き、それを理解して行動するという経験を繰り返し行っている。この経験が日本語で出された指示を理解できるという更なる自信につながり、学期末においても高い評価を維持したのではないかと考えられる。次に、同じく全員が4をつけた(6)「I can understand simple walking directions and directions for public transportation」については、会話クラスにおいて、電車やバスなどの行き先や乗り場を確認する練習をしていたことが反映していると考えられる。また、授業で学んだだけでなく、実際の生活においても、公共交通機関を使ってさまざまな場所へ行く機会があるため、その際に、道を尋ねたり、電車やバスの行き先を確認したりする経験を何度もしていたものと推測される。その結果、来日当初のプレでは、3.429であった評価が学期終了時点では4に上がったのではないかと考えられる。なお、初級日本語の受講生が一般的に評定を高く付けていることから、念のため、スピアマンの順位相関で確認したところ、やはり相関関係は認められなかった [$r(7)=.242, n.s.$]。

一般に、JLPTのN5やN4の受験者は、大半が海外受験者である。2014年度(第1回, 第2回の合計)のJLPTの受験者を見ると、N5では総受験者数58,021人のうち、海外受験者は55,150人(95.05%)であり、N4では総受験者数70,933人のうち、海外受験者は57,209人(80.65%)である (http://www.jlpt.jp/statistics/pdf/suii_2014.pdf)。海外受験者の場合、全般的に聞く力が弱く、初級日本語の受講生も、学期開始当初は生の日本語が聞き取りにくかったであろう。しかし、日本に来て日本語をたくさん聞く機会が増えたことによって、聴解能力に自信が持てるようになり、結果として、全体的に評定が高くなったのではないかと考えられる。つまり、初級日本語の受講生のポストの評定値が能力度確率と比較して一般的に高めにしたのは、学習環境の変

化に基づくものである可能性が示唆される。

次に、「話す」に関して、入門日本語と初級日本語のそれぞれのポストの値と能力度確率を比較する(表11)。

[表11] ポストと能力度確率の比較:「話す」

JLPT CDs 「話す」	入門日本語		JLPT-CDs 能力度確率	初級日本語		JLPT-CDs 能力度確率
	Post			Post		
	M	SD	N5	M	SD	N4
(1) I can introduce myself and answer simple questions about myself.	4.000	0.000	B	4.000	0.000	A
(2) I can engage in simple communication using phrases commonly used at stores, post offices, and stations (e.g. "How much is it?" "Can I have ○○?", etc.).	4.000	0.000	B	4.000	0.000	B
(3) I can talk about my hobbies and interests.	3.800	0.447	B	4.000	0.000	B
(4) I can describe my room.	3.600	0.548	C	3.714	0.488	B
(5) I can express feelings such as surprise and joy, and the reasons for them.	3.800	0.447	C	3.571	0.787	C
(6) I can ask when is convenient for the other person and decide a day and time to meet.	3.600	0.548	C	4.000	0.000	C
(7) I can join in conversations on familiar everyday topics (e.g. hobbies, weekend plans, etc.).	3.800	0.447	C	3.714	0.488	C
(8) I can tell that I will be late or absent by telephone.	3.600	0.894	D	3.429	0.787	C
(9) I can ask questions about things I want to buy and explain my wishes and conditions.	3.400	0.894	D	3.286	0.488	C
(10) If I prepare in advance, I can make a short speech in formal situations such as my own farewell party.	4.000	0.000	D	3.571	0.787	C

まず、入門日本語と N5 の能力度確率を比較する。N5 の能力度確率は、(1)から(3)までが B(50~75%)、(4)から(7)までが C(25~50%)、(8)から(10)までが D(25%未満)であるが、入門日本語のポストを見ると、いずれも、3.4 から 4.0 と高い。スピーアマンの順位相関でも相関関係が認められなかった [$r(10)=.513$, $n.s.$]。このことから、入門日本語の受講生の自己評定は JLPT の N5 の合格者の評定より、やや高めであると言えよう。これも、入門日本語の学習者が JSL 環境にあることが起因していると考えられる。また、(10)の「If prepare in advance, I can make a short speech in formal situation such as my own farewell party」で全員が 4 をつけているが、これについては、前述のとおり、授業時間内で繰り返し練習したことで、自信を付けたためだと考えられる。

次に、初級日本語と N4 の能力度確率を比較する。N4 の能力度確率は、(1)が A(75%以上)、(2)から(4)が B(50~75%)、(5)から(10)が C(25~50%)である。初級日本語は、A の(1)だけでなく、B の(2)と(3)についても、全員が 4 をつけている。その理由として、まず、(2)「I can engage in simple communication using phrases commonly used at stores, post offices, and stations」については、入門日本語の学習者と同様に、初級日本語の学習者が JSL 環境で日本語を学んだことが影響していると考えられる。前述したように、初級日本語の受講生は、本国では、日本語の授業における口頭表現練習の機会が少なかったものと思われ、教室外の商店や郵便局などに至っては、日本語でやり取りをすることは、ほぼ皆無であったと推測される。それが、日本で生活するようになったことで、教室外でも日本語でコミュニケーションを図る機会が増え、実際の場面において(2)のようなやり取りを経験してきたため、学期末にはその評価が高くなった

ものと思われる。次に、(3)「I can talk about my hobbies and interests」については、授業の中でこういった話題について触れる機会があったことに加えて、日本語母語話者との交流の機会が増えたことも影響していると考えられる。この点については、N4の能力度確率はCであるが、初級日本語では高い評価がついた質問項目と併せて以下に考察する。(6)の「I can ask when is convenient for the other person and decide a day and time to meet」は能力度確率はCであるが、初級日本語は全員が4を付けている。また、(10)「If prepare in advance, I can make a short speech in formal situation such as my own farewell party」も能力度確率はCであるが、初級日本語では評価が高く3.571であった。この結果には、初級日本語の授業内で類似の練習を行っていることに加えて、日常的な言語行動も影響している可能性が高い。国際日本学部は、明治大学の中でも学生数に占める留学生の割合が高い学部であるため、国際交流に興味を持ち、留学生と積極的に関わりたいと思っている日本語母語話者も多い。そして、学部公認の学生団体として、留学生のサポートや国際交流イベントの企画・運営を行う国際交流学生委員会という学生組織も活動を行っている。また、初級日本語では、毎学期、日本語母語話者を授業に招くビジターセッションを実施しており、留学生と日本語母語話者が日本語で話す機会を授業の中に設けている。このように、国際日本学部では、留学生と日本語母語話者が交流を行う授業やイベントが活発に行われている。こうした環境の中で、日本語で(3)のようなことについて日本語で話す機会が増えたり、(10)のような短いスピーチをする経験をしたり、授業やイベントを通して親しくなった日本語母語話者と実際に(6)のような約束を交わしたりする言語行動をとっていることが考えられる。このように授業時間内の活動や課外での日本語母語話者との接触が奏功して、プレの段階では評価があまり高くなかったこれらの項目についても、ポストの段階では自己評価が上がったのではないかと考える。ただし、スピアマンの順位相関では、相関関係が認められている [$r(10) = .670, p < .05$]。よって、初級日本語の受講生の評定は、N4合格者と大きくかけ離れるものではないと言えよう。

次に、「読む」についても、同様に比較検討する(表12)。

[表 12] ポストと能力度確率の比較：「読む」

JLPT CDs 「読む」	入門日本語		JLPT-CDs 能力度確率	初級日本語		JLPT-CDs 能力度確率
	Post			Post		
	M	SD	N5	M	SD	N4
(1) I can understand my appointment day and time from appointment reservation charts at my school, etc.	4.000	0.000	B	4.000	0.000	B
(2) I can understand simple instructions with pictures (e.g. how to put out trash, how to prepare meals).	3.400	0.894	C	3.710	0.488	B
(3) I can understand simple memos.	3.600	0.894	C	3.571	0.787	B
(4) I can read and understand New Year's and birthday cards.	3.400	0.548	C	3.429	0.787	B
(5) I can read train schedules and guide signs at stations in order to determine what time to board my train.	3.600	0.548	C	4.000	0.000	C
(6) I can understand the sale dates and prices listed in newspaper advertisements and fliers.	3.400	0.894	C	3.571	0.787	C
(7) I can get necessary information (e.g. lecture or meeting schedules, etc.) from notice boards at school or work.	3.600	0.894	C	3.429	0.787	C
(8) I can understand post cards and e-mails from my acquaintances and friends.	3.000	0.707	D	3.143	0.690	C

まず、入門日本語と N5 の能力度確率を比較すると、(1)の記述文、「I can understand my appointment day and time from appoint reservation charts at my school, etc.」で入門日本語の全員が4を付けているが、能力度確率もBである。一方、(8)「I can understand post cards and e-mails from my acquaintances and friends」では、評定値が3で、この中では最も低い。能力度確率もDである。スピアマンの順位相関でも、相関関係も認められている [$r(8)=.803$, $p<.05$]。入門日本語の受講生の評定と N5 合格者の評定は概ね一致していると言えるだろう。

一方、初級日本語と N4 の能力度確率を比較すると、(1)だけでなく、(5)「I can read train schedules and guide signs at stations in order to determine what time to board my train」でも全員が4を付けている。これは、学生たちが複雑な路線を持つ東京で生活し、学期末には電車を乗りこなせるようになっていくという現実の生活能力の向上が反映したためではないかと考える。授業内外で聞かれる学生達の発言からも、来日当初は、寮やアパートから大学に辿り着くだけでも駅で迷ったりしていた学生が、さまざまな場所へ買い物や観光、旅行に行く経験を通して、自力で電車を乗りこなせるようになっていく様子がうかがえた。正規生と交換生では、その期間は異なるものの、留学という限られた時間の中で、さまざまな場所へ行き、多くの経験をしようという積極的な姿勢が(5)のような能力の向上につながっているものと考えられる。初級日本語の評定と能力度確率との間には、相関関係が認められなかったが [$r(8)=.278$, $n.s.$]、これは、繰り返し述べているように、JLPT 受験者との学習環境の違いからくる当然の差であろう。難易度の高い記述文に対しては、初級日本語の学習者の評定も徐々に下がっていることから、初級日本語の評定と N4 の合格者の評定の間には、大きなずれはないと考えて良いだろう。

最後に、「書く」について検討する(表 13)。

[表13] ポストと能力度確率の比較：「書く」

JLPT CDs 「書く」	入門日本語		JLPT-CDs 能力度確率	初級日本語		JLPT-CDs 能力度確率
	Post			Post		
	M	SD	N5	M	SD	N4
(1) I can write my name, country, etc. in forms.	4.000	0.000	A	4.000	0.000	A
(2) I can write a simple self-introduction.	4.000	0.000	B	4.000	0.000	B
(3) I can write short sentences for birthday and thank-you cards.	4.000	0.000	C	3.714	0.756	B
(4) I can write my schedule in short words on schedule boards or calendars.	3.800	0.447	C	3.714	0.756	C
(5) I can briefly write about familiar topics such as my family and town.	4.000	0.000	C	4.000	0.000	C
(6) I can write simple memos to my friends and colleagues.	4.000	0.000	C	3.857	0.378	C
(7) I can write short entries in a diary.	3.400	0.894	C	3.857	0.378	C
(8) I can briefly write about my future plans and wishes (e.g. summer vacation travel, work I want to do).	3.800	0.447	D	4.000	0.000	C
(9) I can describe my day-to-day life in writing.	3.600	0.548	D	3.571	0.535	C

まず、入門日本語では、全員が4を付けた項目が5項目あり、そのうち、(3)、(5)、(6)のように能力度確率がCの記述文にも、全員が4をつけた。また、能力度確率Dの(8)についても、評定の平均が3.8と非常に高い。一方、初級日本語の場合も、全ての項目が3.5以上で、全員が4を付けた項目も(1)、(2)、(5)、(8)の4項目ある。全般的に評定が高いのがわかる。なお、確認のため、スピアマンの順位相関を見てみると、入門日本語では相関傾向が認められた[$r(9)=.601$, $p<.10$]。よって、入門日本語の受講生の自己評定はN5合格者の自己評定に比較的近いと言えるだろう。一方、初級日本語では有意な相関関係は認められなかった [$r(9)=.289$, $n.s.$]。ただし、能力記述文の難易度が高くなるにつれて、初級日本語の受講生の評定値も下がっており、一定程度の類似傾向はある。

なお、入門日本語のプレの値を見てみると(前掲表5)、(8)や(9)の評定平均は1.4で、(6)も1.6と非常に低かった。つまり、仮名の知識さえも不十分であった学期開始当初は、「書く」という言語活動がほとんどできなかったが、文字や語彙、文型を習うことによって、また、学習の過程で書く作業にも時間を割くようになり、徐々に書く能力も向上していったと考えられる。さらに、生活の中でも、日本語を書く、書かされる機会がたくさんある。こうした環境で、学習者自身が「書く」能力が非常に伸びたと認識しているのだろう。また、初級日本語でも能力度確率Cの(5)「I can briefly write about familiar topics such as my family and town」や(8)「I can briefly write about my future plans and wishes」で、全員が4を付けており、かつ、いずれもプレの値から評定が上がっている。これらも、授業時間の活動が影響していると考えられる。初級日本語の総合クラスでは、「私の町」というタイトルの作文を書かせており、さらに、読解クラスでは、授業中に読んだテキストと関連したテーマの作文をほぼ毎週宿題として課し、その中で「私が知っている有名な人」、「私の国の習慣」といったタイトルの作文も書いているため、学生はそれらの経験を通して、作文を書くことに自信が付いていき、身近な話題について書く能力が向上したと感じたのではないかと推測される。これが(5)で全員が4を付けた理由だと考えられる。また、(8)については、口頭ではあるが、週末の予定や夏休みにしたいことなどについて、毎週学生に話させ、習慣化していたため、自分の予定や希望について日本語で表現することに慣れていたことが

自信につながり、評価を高めたのかもしれない。

3. 総合的考察

ここでは、これまでの分析結果に基づき、本研究の二つの検討事項について総合的な考察を行う。

まず、プレイスの妥当性については、入門日本語のポストと初級日本語のプレの評定値を対応のない t 検定によって分析、検討したところ、両者の数値は概ね近似していることがわかった。これは、初級日本語にプレイスされた学生の自己評価と、入門日本語を終了した学生の自己評価が近似しているということを示す。このことから、初級日本語にプレイスされた学生の日本語習熟度は、入門日本語終了程度に近いと言えよう。よって、初級日本語のプレイスには一定の妥当性があると考えられる。

ただし、入門日本語の方が初級日本語より評定が高い項目が複数認められたが、これは、「話す」、「書く」の産出技能の項目に顕著であった。入門日本語にプレイスされた学生が、学習開始時は日本語の知識がほとんどなく、文字の読み書きも不十分であったところから、文字、語彙、文型を習得し、日本で生活しながら、少しずつ日本語による課題遂行ができるようになってきたという現実世界での変化を表していると考ええる。一方、初級日本語の受講生の場合、プレの調査時というのは来日して間もない時期であり、生の日本語に触れて、自分自身の日本語能力に対する自信を失ってしまった可能性がある。やや低めに評定したのはそのためかもしれない。つまり、入門日本語のポストと初級日本語のプレの評定に若干の差があったとしても、それは学習環境による差であると考えるのが妥当であろう。よって、今回の調査だけでは、入門日本語の学期終了時点の自己評価と、初級日本語の学期開始時点での自己評価に大きな開きがあるとまでは言えないと考える。

次に、コースの目標の妥当性については、学期終了時点での入門日本語と初級日本語のそれぞれの評定値と JLPT-CDs の能力度確率とを照合し、ノンパラメトリック検定を用いながら記述的に考察した。その結果、入門日本語と初級日本語のいずれも、全体的に評定値が高く、N5 合格者、N4 合格者よりも、自己評価がやや高い傾向があるものの、概ね N5 合格相当、N4 合格相当であることが推定された。

ただし、繰り返し述べているように、JLPT の N5・N4 受験者と入門日本語・初級日本語の受講者とでは、JSL か JFL かという学習環境の違いがあり、それが評定に反映している可能性がある。今回の調査対象者は、日本語の未修者や初級前半終了程度の学習者であるが、JSL という環境にあり、日本語で解決しなければならない課題に常に遭遇している。日本語の知識や能力が不十分な分だけ、日本語母語話者の支援が必要であり、完遂できない課題も多数あるが、置かれている言語環境という点で考えれば、上級レベルの学習者と変わるものではない。そのような状況にあって、入門日本語や初級日本語の受講生は、学期開始から約 3 か月後の学期終了時には、日本語で多くのことができるようになったと自信を持つようになっているはずである。それが学

期終了時点で行った調査結果に反映したものと考えられる。

V おわりに

これまで見てきたように、本研究によって、現在開設されている入門日本語と初級日本語の受講生は、適切なレベルにプレイスされ、学期終了時点の日本語能力について、それぞれ N5 合格者、N4 合格者と同等程度の自己評価をしていることが示された。

ただし、今回は調査対象者が 12 名と人数が少なく、結果の解釈には慎重を要するため、引き続きデータを蓄積し、再度、分析、検討する必要がある。特に、学期終了時点での自己評価については、JLPT の合格者に比して、全体的に高めの数値であり、その背景として、本研究の調査対象者と JLPT の N5、N4 合格者の学習環境の違いが影響している可能性が示唆される。よって、次回はフォローアップインタビューを行う等して、自己評価の理由や根拠について受講生に話を聞いてみたい。また、受講生の中には、JSL 環境で日本語を学んだ者と、JFL 環境で学んだ者が混在している。そこで、データが一定程度集まったところで、学習環境の違いが評定に及ぼす影響についても、分析していきたい。

さらに、実際に授業内で扱った活動に関しては、自己評価が高い傾向があった。よって、今後は、JLPT-CDs を、授業内で扱った活動か否か、日常生活で行う言語行動か否かに基づいて分類し、自己評価との関係について検討する必要もある。

こうした調査研究を行いながら、国際日本学部における日本語教育の質を高める努力を続けていきたい。

参考文献

- 国際交流基金・日本国際教育支援協会「日本語能力試験 JLPT」〈<http://www.jlpt.jp/index.html>〉(2015年9月15日閲覧)。
- 国際交流基金・日本国際教育支援協会(2012)『日本語能力試験 Can-do 自己評価調査レポート《最終報告》(2011年6月発表)〉〈https://www.jlpt.jp/about/pdf/cds_final_report.pdf〉(2015年9月15日閲覧)。
- 国際交流基金・日本国際教育支援協会(2011)『日本語能力試験 Can-do 自己評価調査レポート《中間報告》(2011年6月発表)』〈https://www.jlpt.jp/about/pdf/cds_interim_report.pdf〉(2015年9月15日閲覧)。
- 三枝令子(2004)『日本語 Can-do statements 尺度の開発 平成13年度～平成15年度科学研究費補助金(基盤研究 B1) 成果報告書』
- 島田めぐみ(2010)「自己評価 Can-do statements に関する一考察：客観テストとの比較を通して」『東京学芸大学紀要 総合教育科学系』61(2), 267-277。
- 島田めぐみ・三枝令子・野口裕之(2006)「日本語 Can-do statements を利用した言語行動記述の試み—日本語能力試験受験者を対象として—」『世界の日本語教育』16, 79-92。
- 島田めぐみ・谷部弘子・斎藤純男(2007)「日本語科目における言語行動目標の設定—Can-do-statements を利用して—」『東京学芸大学紀要 総合教育科学系』58, 495-505。
- 野口裕之・大隅敦子(2014)『テストングの基礎理論』研究社。
- 野口裕之・熊谷龍一・脇田貴文・和田晃子(2007)「日本語 Can-do statements における DIF 項目の検出」『日

本言語テスト学会研究紀要』10, 106-118.

村上京子 (2008) 「日本語学習者の能力記述によるレベル表示」『名古屋大学留学生センター紀要』6, 49-60.

付録

Survey for Can-do statements

You are invited to consider participating in our research project. We are conducting the research about how the international students consider their Japanese language ability before and after taking our Japanese Language Courses.

Please read the following can-do statements. How well do you think you can do them in JAPANESE LANGUAGE at this moment? Please circle one choice for each statement as in the following example.

We would like to give the feedback on the results of this research to each one of you by the end of this semester. Thank you!

Principal investigator: KOMORI, Kazuko, Ph.D.

Co-investigator: YANAGISAWA, Emi, Ph.D.C.

Ex.	I can generally understand TV dramas and movies in standard Japanese	Yes	Yes, but with difficulty	<u>Not very well</u>	No
-----	--	-----	--------------------------	----------------------	----

Your name: _____

〈Listening〉

(1)	I can understand simple self-introductions by teachers and friends in classrooms.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(2)	I can understand phrases commonly used at stores, post offices, and stations (e.g. "May I help you?" "It's ○ yen." and "Here you are.", etc.).	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(3)	I can understand instructions from my teacher such as meeting times and places.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(4)	When I am given simple instructions, I can understand what is required of me.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(5)	I can generally understand conversations on familiar everyday topics (e.g. hobbies, food, weekend plans, etc.).	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(6)	I can understand simple walking directions and directions for public transportation.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(7)	I can understand the general content when I engage in small talk and free conversations with people around me.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No

〈Reading〉

(8)	I can understand my appointment day and time from appointment reservation charts at my school, etc.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(9)	I can understand simple instructions with pictures (e.g. how to put out trash, how to prepare meals).	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(10)	I can understand simple memos.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No

(11)	I can read and understand New Year's and birthday cards.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(12)	I can read train schedules and guide signs at stations in order to determine what time to board my train.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(13)	I can understand the sale dates and prices listed in newspaper advertisements and fliers.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(14)	I can get necessary information (e.g. lecture or meeting schedules, etc.) from notice boards at school or work.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(15)	I can understand post cards and e-mails from my acquaintances and friends.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(16)	I can understand the main story lines of short stories.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(17)	I can get necessary information from the brochures of products (e.g. product features, etc.).	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(18)	I can understand the definitions provided in general Japanese-Japanese dictionaries.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No

〈Speaking〉

(19)	I can introduce myself and answer simple questions about myself.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(20)	I can engage in simple communication using phrases commonly used at stores, post offices, and stations (e.g. "How much is it?" "Can I have ○○?", etc.).	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(21)	I can talk about my hobbies and interests.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(22)	I can describe my room.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(23)	I can express feelings such as surprise and joy, and the reasons for them.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(24)	I can ask when is convenient for the other person and decide a day and time to meet.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(25)	I can join in conversations on familiar everyday topics (e.g. hobbies, weekend plans, etc.).	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(26)	I can tell that I will be late or absent by telephone.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(27)	I can ask questions about things I want to buy and explain my wishes and conditions.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(28)	If I prepare in advance, I can make a short speech in formal situations such as my own farewell party.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(29)	I can give walking directions and directions for public transportation to locations I know well.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No

〈Writing〉

(30)	I can write my name, country, etc. in forms.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(31)	I can write a simple self-introduction.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(32)	I can write short sentences for birthday and thank-you cards.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(33)	I can write my schedule in short words on schedule boards or calendars.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(34)	I can briefly write about familiar topics such as my family and town.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(35)	I can write simple memos to my friends and colleagues.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(36)	I can write short entries in a diary.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(37)	I can briefly write about my future plans and wishes (e.g. summer vacation travel, work I want to do).	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(38)	I can describe my day-to-day life in writing.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No
(39)	I can write letters and e-mails to apologize or convey appreciation to acquaintances.	Yes	Yes, but with difficulty	Not very well	No

If you do NOT consent to participate in this research project, please check the following box.

I do NOT consent to participate in this research project.